

News Release



令和7年8月26日

各報道機関文教担当記者 様

令和7年度 文部科学省・AMED「医学系研究支援プログラム」【総合型】に採択 文理医融合の研究組織「Fusion Lab」を新設し、 「未来型健康社会」を50年前倒しで実現を目指す

このたび、金沢大学は、令和7年度 文部科学省・日本医療研究開発機構（AMED）が公募した「医学系研究支援プログラム」において【総合型】の採択を受けました。

本事業は、医学系の研究力を抜本的に強化することを目的としており、機関による環境整備と個人・チームの研究活動を一体的に支援するプログラムになります。本事業には、「総合型」と「特色型」があり、「総合型」には19件が申請され、本学を含む6件が採択されました。

本学のプログラムでは、22世紀の理想とされる「未来型健康社会」を50年前倒しで実現するための戦略を掲げ、医学研究・医療・人材養成・働き方改革の「四位一体改革」により、**ライフサイエンス・イノベーションの創成**を目指します。次世代の研究を担う学生も参画し、臨床医学と基礎医学が密接に連携するだけでなく、総合大学としての強みを生かし、**全学を挙げて文理医融合研究を推進する研究組織「Fusion Lab」を新設**し、ヒトの生涯をテーマとした研究を推進することで、**国内外における医学研究の中核拠点を目指**します。※詳細別紙

●和田隆志学長コメント ※「隆」は「生」の上に「一」あり

「本事業において、文理医の知を融合した『Fusion Lab』を核に、医学研究の新たな地平を切り拓き、22世紀を先取りする未来型健康社会の創成に挑戦します。これからも、本学の理念のもと、オール金沢大学で「未来知」により社会に貢献してまいります。」

【本件に関するお問い合わせ先】

■広報に関すること

金沢大学医薬保健系事務部総務課総務係 山田

TEL：076-265-2109

E-mail：t-isomu@adm.kanazawa-u.ac.jp

【金沢大学の採択課題】

・事業課題名：

【総合型】22世紀の未来型健康社会に向けたヘルスサイエンス・イノベーション
ー Fusion Lab で拓く医学イノベーションと未来型健康社会の創成ー

・事業代表者：

国立大学法人金沢大学 医学系長・医学類長 山本 靖彦 教授

・実施期間：

令和7年10月1日～令和10年3月31日（予定）

・事業の概要：

本学のプログラムは、22世紀の理想とされる「未来型健康社会」を50年前倒しで実現することを目指しています。そのために以下の「四位一体改革」を推進します。

- ・医学研究：臨床医学と基礎医学の緊密な連携による病態解明と治療法開発
- ・医療：先端医療技術の創出と地域・国際医療の発展
- ・人材養成：次世代研究者・学生の積極的参画
- ・働き方改革：研究時間確保と持続可能な研究環境の整備

さらに、総合大学としての強みを生かし、文理医融合の研究組織「Fusion Lab」を新設し、ヒトの生涯をテーマとした研究を推進することで、国内外における医学研究の中核拠点を目指します。

【事業協力機関】

北陸先端科学技術大学院大学

金沢医科大学

国立遺伝学研究所

ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）

国立情報学研究所

持田製薬株式会社

株式会社日立ソリューションズ・クリエイト

※【医学系研究支援プログラムの概要】や【「総合型」の特徴】は下記の関連リンクをご確認ください。

【関連リンク】

文部科学省「医学系研究支援プログラム」

https://www.mext.go.jp/a_menu/lifescience/bioethics/mext_00004.html

日本医療研究開発機構（AMED）

https://www.amed.go.jp/news/release_20250826.html